

学校名	石巻市立雄勝小学校
授業者	山口直美（1・2年担任）阿部秀憲（2年TT）清水都恵（3・4年担任）本川良（6年担任）

## 1. 単元計画

### 1-1. 単元名

海に親しむ「たっぷり海で遊ぼう・浸ろう」

### 1-2. 学年

全学年

### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

生活、図工、体育、総合的な学習の時間

### 1-4. 単元の概要

- ・磯の生き物探し … 磯に生息する生き物を探したり捕獲して観察したりする。【生活・総合】
- ・地引網体験 … 地引網体験を通して、雄勝に生息する水生生物を捕獲して観察する。【生活・総合】
- ・砂や漂流物を使った造形遊び … 【生活・図工】
- ・着衣泳体験 … 外部講師を招き、「浮いて待つ」体験や着衣泳体験をする。【体育】

### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

本校は雄勝半島全域が学区であり、学校前には砂浜や磯、近隣には漁港が点在している。地域産業である漁業従事者の他、漁業協同組合や伝統工芸品の雄勝硯組合に従事している方々も多い。また、無形文化財である雄勝法印神楽が浜祭り等で奉納されるなど、震災後も脈々と伝統芸能が継承されている。それら雄勝のよさの中でも特に海にこだわり、海をフィールドにした体験活動を通して、主体的で深い学び（探究活動）へと導くとともに、ふるさとを愛する心情を育むことをねらいとしている。

### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・海をフィールドにした体験活動（遊び）を通して、様々な問いや疑問が生まれ、探究的で深い学びへと発展すると期待できる。
- ・ふるさと雄勝の魅力やよさを実感することで雄勝を誇りに思う気持ちが醸成され、ふるさとを愛する心情が育まれると期待できる。
- ・身近な海を見る視点や感じる心が育つとともに、行動しようとする意欲の高まりに伴い、雄勝の海との関わりの中で自分が果たせる役割について考えようとする心情が醸成されると期待できる。

1-7. 単元の展開（全23時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 / 外部連携 / 使用教材等
2	<p><b>磯の生き物探し～春～</b></p> <p>◇学校浜の生き物の春の様子について予想をもち、確かめようとする。</p> <p>◇気温や水温など、季節によって生き物の数や様子に違いがあることに気付く。</p> <p>①生き物の様子について予想を立てる。 ②磯に行き、生き物調べをする。 ③活動を振り返る。</p>	<p><b>【活動時期】</b> 4月～5月</p> <p><b>準備</b> ライフジャケット（レンタル）、救急セット</p> <p><b>指導</b> ライフジャケットの着用や海の活動時の約束について確認した上で活動に入る。活動後は怪我の確認も含め振り返りの時間をもつ。</p> <p><b>評価</b> 学校浜の生き物の春の様子について予想をもち、確かめようとしていたか。季節によって生き物の数や様子に違いがあることに気付くことができたか。</p>
6	<p><b>磯の生き物探し～夏～</b></p> <p>◇学校浜の生き物の夏の様子について予想をもち、確かめようとする。</p> <p>◇気温や水温など、季節によって生き物の数や様子に違いがあることに気付く。</p> <p>①生き物の様子について予想を立てる。 ②磯に行き、生き物調べをする。 ③活動を振り返る。</p>	<p><b>【活動時期】</b> 6月～8月</p> <p><b>準備</b> ライフジャケット、救急セット</p> <p><b>指導</b> ライフジャケットの着用や海の活動時の約束について確認した上で活動に入る。活動後は怪我の確認も含め振り返りの時間をもつ。</p> <p><b>評価</b> 学校浜の生き物の春の様子について予想をもち、確かめようとしていたか。季節によって生き物の数や様子に違いがあることに気付くことができたか。</p>
2	<p><b>着衣泳体験</b></p> <p>◇体験を通して、水の事故から自分の命を守るために、どのような対処をしたらよいか気付く。</p> <p>①海の事故と着衣泳の重要性について知る。 ②水に浮く体験をする。（ライフジャケット無し） ③水に浮く体験をする。（ライフジャケット着用） ④活動を振り返る。</p>	<p><b>【活動時期】</b> 7月下旬</p> <p><b>準備</b> ライフジャケット、救急セット</p> <p><b>外部</b> 水難学会指導員、保護者及び地域協力者</p> <p><b>指導</b> 外部講師より海の事故と着衣泳の重要性について説明を受けた上で活動に入る。教員及び活動協力者は、児童の活動補助にあたる。</p> <p><b>評価</b> 水の事故から自分の命を守るために、どのような対処をしたらよいか気付けたか。</p>
3	<p><b>地引網体験</b></p> <p>◇地引網体験を通して、海に生息する生き物に関心をもつとともに、雄勝の海の豊かさに気付くことができる。</p> <p>①どんな魚が揚がるか予想を立てる。 ②中学生の体験を見て活動のイメージをもつ。 ③地引網体験を行う。 ④水揚げされた魚を観察する。（観察後は放流） ⑤活動を振り返る。</p>	<p><b>【活動時期】</b> 7月下旬～8月上旬</p> <p><b>準備</b> 地引網、観察用プール、救急セット</p> <p><b>外部</b> 保護者</p> <p><b>指導</b> まず中学生が引く様子を見て活動のイメージをもたせる。水揚げされた魚の危険の有無を確認した上で触れたり観察させたりする。</p> <p><b>評価</b> 地引網体験を通して、海に生息する生き物に関心をもつとともに、雄勝の海の豊かさに気付くことができたか。</p>

4	<p><b>磯の生き物探し～秋～</b></p> <p>◇学校浜の生き物の秋の様子について予想をもち、確かめようとする。</p> <p>◇気温や水温など、季節によって生き物の数や様子に違いがあることに気付く。</p> <p>①生き物の様子について予想を立てる。</p> <p>②磯に行って、生き物調べをする。</p> <p>③活動を振り返る。</p>	<p><b>【活動時期】</b> 9月～11月</p> <p><b>準備</b> ライフジャケット、薄型水槽、救急セット</p> <p><b>指導</b> ライフジャケットの着用や海の活動時の約束について確認した上で活動に入る。活動後は怪我の確認も含め振り返りの時間をもつ。</p> <p><b>評価</b> 学校浜の生き物の春の様子について予想をもち、確かめようとしていたか。季節によって生き物の数や様子に違いがあることに気付くことができたか。</p>
2	<p><b>磯の生き物探し～冬～</b></p> <p>◇学校浜の生き物の冬の様子について予想をもち、確かめようとする。</p> <p>◇気温や水温など、季節によって生き物の数や様子に違いがあることに気付く。</p> <p>①生き物の様子について予想を立てる。</p> <p>②磯に行って、生き物調べをする。</p> <p>③活動を振り返る。</p>	<p><b>【活動時期】</b> 12月～3月</p> <p><b>準備</b> ライフジャケット、箱めがね、救急セット</p> <p><b>指導</b> ライフジャケットの着用や海の活動時の約束について確認した上で活動に入る。活動後は怪我の確認も含め振り返りの時間をもつ。</p> <p><b>評価</b> 学校浜の生き物の春の様子について予想をもち、確かめようとしていたか。季節によって生き物の数や様子に違いがあることに気付くことができたか。</p>
4	<p><b>砂や漂流物を使った造形遊び</b></p> <p>◇身の回りにある自然素材を活用し、自由な発想で造形遊びを楽しむことができる。</p> <p>①収集した自然素材から作品のイメージをもつ。</p> <p>②造形遊びに取り組む。</p> <p>③完成した作品を鑑賞し合う。</p> <p>④活動を振り返る。</p>	<p><b>【活動時期】</b> 年間を通して</p> <p><b>準備</b> スコップ、シャベル、バケツ、工作用具など</p> <p><b>指導</b> 生き物探しで収集した素材を活用させる。自由な発想で造形遊びに浸らせ、完成後は互いに鑑賞する時間を確保する。</p> <p><b>評価</b> 身の回りにある自然素材を活用し、自由な発想で造形遊びを楽しむことができたか。</p>



### 3. 今回の活動の自己評価

- ◎ ライフジャケットのチェックを自分たちでさせることで、安全意識の高まりが感じられるようになった。
- ◎ 事前に予想させることで、「遊び」ではなく「観察」という視点を意識しながら活動する姿が見られた。
- ◎ 実際に海に手を入れた児童からは、「夏より冷たい」という声も聞かれるなど、季節による海の変化を感じ取ることができた。
- ▲ 活動を重ねるにつれ慣れが生じ、危険への感度が鈍くなる児童も見られはじめた。活動前の約束を確実に守り、事故の未然防止に努める必要がある。

### 4. 今後の課題

- ・ 児童の中には、さらに深く調べたいという思いを抱く子も見られ始めた。追究のための活動時間の確保と、図書資料等の充実を図っていく必要がある。
- ・ コロナ禍において、今年度は学校前浜をフィールドにした活動が中心であった。いずれは各地区の港や浜へと活動の幅を広げることで、それぞれの特徴に気付かせていきたい。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・ 事故の未然防止に努める意味から、ライフジャケットの全員着用や監視体制の充実を図る必要がある。
- ・ 本校では、地元の漁業関係の皆様にご了承をいただいた上で学校前浜の活動を行っている。同様の活動をする際には、事前に活動場所（浜、港など）の使用について確認する必要があるため留意してほしい。

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。